

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅶ(小児の疾病)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年前期	1	15
担当教員	伊藤 卓夫 真庭 聡	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

健康や障害の状態に関わらず、すべての子どものとくちょうを理解し、発達段階各期にみられる特徴的な健康障害について理解する。そして、小児によくみられる疾患と症状、治療・処置を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 子どもに起こりやすい健康障害の病態生理、症状、治療について理解できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児の特徴(成長・発達)	講義
2	新生児・先天異常	講義
3	内分泌・代謝・栄養	講義
4	循環器・腎臓	講義
5	消化器・アレルギー	講義
6	血液腫瘍・感染症・ワクチン	講義
7	神経・筋疾患	講義
8	試験	

【5】 評価方法

筆記試験と、授業・学習への取り組みによる総合評価

【6】 教科書

丸光恵:系統医学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 (第15版) 2026 (電子版)

【7】 参考書

随時紹介

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。
子どもに起こりやすい健康障害について学び、看護につなげましょう。